

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	港区白金 3-13-13
園名	はっぴっぴ！白金高輪園

1 活動のテーマ

<テーマ>

色 x 季節

<テーマの設定理由>

0～1 歳児が中心の園であり、言語理解よりも、見る・触れるといった感覚を通じた体験が重要な発達段階にあります。そのため、日常生活の中で最も変化を感じ取りやすい「季節」をテーマとして設定しました。

2 活動スケジュール

- 【①1月：干支の「馬」を色で楽しもう
- 【②2月：光と色の不思議を感じよう（セロファン × 光遊び）
- 【③3月：満開の桜を色でつくろう（絵の具 × 画用紙 × 紙吹雪）

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

季節の色を感じることを目的として、ライトやカラーセロファン、透明素材等を準備した。壁や床に光や色が映るよう空間を調整し、子ども達が寝転んだり手を伸ばしたりしながら光や色に触れられる環境を整えた。また、安全面に配慮しながら、子ども達が自由に探索できるように十分なスペースを確保した。

4 探究活動の実践

<活動の内容>

春の季節を感じることを目的として、光と色を用いた活動を行った。ライトにカラーセロファンを重ねて光を映し出し、壁や床に広がる色の変化や動きを楽しむ活動を行った。活動を通して、光や色の違いに気付きながら、手を伸ばしたり触れたりする中で、季節の色に親しむことができた。

子ども達は光や色に興味を示し、手を伸ばしたり、光が動く様子を目で追ったりする姿が見られた。また、友達が触れている様子を見て同じように手を伸ばす姿も見られ、周囲への関心が広がっていく様子が感じられた。保育者は子ども達の気付きや反応に寄り添い、「きれいな色だね」「春の色だね」等と声を掛けながら関わることで、色や季節への興味が深まるよう援助した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

光や色を取り入れた活動を通して、0歳児でも視覚的な刺激に対して強い興味を示し、繰り返し手を伸ばしたり視線を向けたりする姿が多く見られた。また、光や色の変化に触れることで、季節の雰囲気を感じるきっかけとなることが分かった。今後も季節の色や自然の変化を取り入れた活動を継続し、子ども達が五感を通して季節を感じられる環境づくりを進めていきたいと考えている。

